

ちょうせんする子 うんどうを楽しむ子 なんでもやりぬく子



長南町立長南小学校
 令和4年11月30日
 学校だより第9号



いつだって心は一つ
 長南小

令和4年もあと1か月で終わります！

令和4年も残り1か月となりました。予報によると12月には、大陸から寒気団が日本列島にやって来るそうです。本格的な冬が到来するかもしれません。新型コロナとインフルエンザ等の感染症の拡がりも懸念される中、学校の教育活動を行うためには、これまで以上に体調管理に気を配ることが大切です。

そのような中でも、子どもたちは何事にも努力を惜しまず、学習や運動を頑張っています。11月14日（月）からスタートした向寒マラソンでは、どの学年もそれぞれの目標に向かって元気いっぱい走る姿が見られ、頼もしく感じています。健康観察カードには、向寒マラソン期間中、その日のマラソン練習参加の有無の項目がありますので、保護者印とともに記入漏れのないようお願いいたします。期間中、休まず元気に練習に参加できることが一番素晴らしいことです。12月6日（火）はマラソン納会も予定しています。一人でも多くの子どもたちが皆走賞（1日も休まず参加した証）をもらえることを願っています。

12月23日（金）の登校最終日まで、1年のしめくくりがしっかりできるよう指導・支援にあたっています。引き続き、保護者の皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。



学校の様子



◎長生郡市小学校体操大会

11月8日（火）、茂原市民体育館を会場に、「長生郡市小学校体操大会」がひらかれました。本大会は3年ぶりの開催で、子どもたちにとっては大きな会場での演技は初めての体験でした。本番では緊張感もあった中で、どの選手も立派な演技を披露しました。

結果は、男子が団体4位、男女総合で5位という立派な成績を収めました。大会は、保護者の応援ができなかったのも、前日の7日（月）の「励ます会」で保護者の前で各自演技を披露しました。平日にもかかわらず多くの保護者に見てもらえたことは子どもたちにとって大きな自信となりました。ご協力ありがとうございました。



は子どもたちにとって大きな自信となりました。ご協力ありがとうございました。



◎学校体育研究指定公開研究会

11月11日（金）、県教育委員会学校体育研究指定の授業公開研究会を実施しました。当日は、70名近くの方々に本校の子どもたちが伸び伸びと体育の授業に取り組んでいる姿を見せることができました。

2年1組
 表現リズム遊び
 表現遊び
 授業者
 中村 喜子 教諭



4年1組
 ネット型ゲーム
 キャッチバレーボール
 授業者 畑山 美香 教諭

5年1組
 陸上運動
 短距離走・リレー
 授業者 石井 亨季 教諭
 三輪 容子 教諭



◎12月のスクールカウンセラーの在校日について

12月は、14日（水）です。学校や家庭でのお子様の様子について悩みごとや心配なことなど、スクールカウンセラーの高原先生に相談したいことがありましたら、学級担任、担当の太田、教頭、または養護の松本宛にご連絡をください。



ネット社会(ソーシャルメディア)の注意点

11月初め頃、千葉県警生活安全部少年課からの依頼で、4年生の保護者に児童を通じて、『子どもを守ろう！ スマホ時代の大人の教科書』という冊子を配付しました（4年生の保護者をご一読をお願いいたします）。

配付した冊子には、「スマホの正しい使い方」「SNS等に起因する被害やトラブルの実態」「子どもを犯罪被害等から守るために」等、子どもがスマートフォン（以下「スマホ」とします）を持つ機会が増えてきた今、保護者による適切な管理・監督が重要だと書かれています。

以下、上記の冊子や関係資料を参考にして、注意点などをまとめました。

○子どもたちが使うSNSやオンラインゲームの例

・Twitter (ツイッター)

ツイートと呼ばれる短文や画像、動画を投稿し共有できます。ツイートに対するコメント投稿やダイレクトメッセージの送信が可能です。情報発信・収集ツールとして使われていますが、投稿相手への非難や誹謗中傷による炎上等が問題となっています。

・Instagram (インスタグラム) やTikTok (ティクトック)

写真や動画を投稿し共有できます。「インスタ映え」という言葉も生まれました。コメント投稿やメッセージのやり取りができるので、見知らぬ相手とのやり取りでトラブルに巻き込まれるケースもあります。TikTokは、アプリで動画の撮影、編集ができるのが特徴です。悪意のある編集もできます。

・オンラインゲーム

「Fortnite」や「荒野行動」、「マイクラフト」などは小学生に人気のアプリです。スマホやタブレット、パソコンでネットに接続してプレイするゲームです。基本プレイは無料でゲーム内で課金するものが多いようです。ゲーム中にチャット機能を使い、他のプレイヤーと会話が可能です。高額な課金やゲーム依存、チャットでの誘い出しが問題点となっているようです。例えば、「Fortnite」は、小学生に人気のバトルロイヤルゲームです。ゲームの空間で、他の仲間（フレンド）とつながり、ボイスチャットで話しながら、まるで一緒にいるように遊べるのが特徴です。本物のミュージシャンが本ゲーム中のバーチャルイベントでライブを行ったことも話題となりました。



○問題となった事例

・ゲーム中の暴言がひどすぎる ・仲間はずれに（キック）された ・課金を嘆願される、勝手に課金されていた…

仲間同士でプレイができるので、へたな子を数人で徹底的に攻撃していた事例も出ていました。

○SNSやゲームが悪いのではなく、その使い方の問題あり！

一方で、**新しいコミュニケーションツールの「使い方」を教えるのが親の役割**であるとも書かれていました。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆保護者としてすべきこと（スマホやゲームを与えた責任）☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

・親がスマホやゲームの所有者である

スマホやゲームは保護者が契約しています。使い方のルールをしっかりと決めてから与えてください。パスワードは保護者が管理しましょう。

・子どもに危険（怖さ）を教えましょう

だれもが被害に遭う可能性があります。逆に、加害者になる危険性も教えてあげてください。

・「匿名だから…」「悪気はなかった…」では済まされないことを教えましょう

軽い気持ちで書き込みやすいのがネットの怖さです。現実の世界でやってはいけないことは、ネットの世界でもやってはいけないことです。

・わからないことは、子どもに教えてもらいましょう

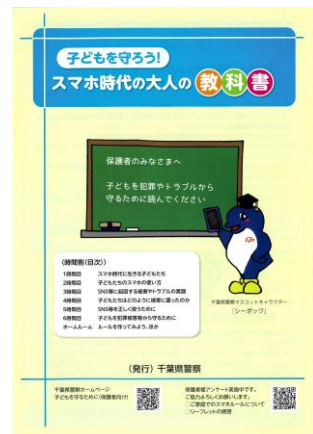
お子さんがやっているアプリやゲームなどに興味を持ってください。わからなければお子さんに聞いて教えてもらってください。どういう機能があってどこが危険か自分で体験してみて、「スマホやゲームの怖さ」を自分の言葉で伝えてください。

・今、お子さんに与える必要があるか、よく検討してください

今までの「危険性」や「怖さ」も含めて、子どもの使用方法について保護者が責任を持てるのか？ 子どもに本当に必要なものなのか？ 家庭内でよく話し合ってください。

☆☆☆スマホやオンラインゲームのトラブルは学校生活にも影響を及ぼします☆☆☆

スマホやオンラインゲームのトラブルによって、学校での友人関係に悪い影響を及ぼし、「いじめ」につながった例も多数報告されています。一度、関係が崩れた場合、学校が仲裁しても、再び修復するのが困難です。トラブルを生じた相手との関係、保護者同士の関係も解決は難しいと考えられます。上記の例を参考に、保護者の責任の下に、正しい使い方を心がけていただきたいと思います。



遊ぶ前に親子で
ルールを決めておこう！

